個票案　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市町名

「ヤングケアラー」と思われる子どもの状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　№

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 性　別 | １　男性　　　２　女性　　　３　その他（　　　　　） | |
| 現在の学年、年齢 | １　小学校　　２　中学校　　３　高等学校　：（　　　　）年生  ４　その他　（　　　　）歳 | |
| 協議会で最初に把握した時の学年、年齢 |  | |
| ケアの期間 | いつから始まった：　　　歳の頃（または　　年　　月頃） | |
| 登録の種別 | １　児童虐待（①身体　 ②心理 　③ネグレクト 　④性的）  ２　要支援　　　３　特定妊婦　　　４　その他（　　　 　） | |
| 健康状態  （健康に生きる権利） | １　健康　　　　２　通院中  ３　必要な病院に通院・受診できない、服薬できていない  ４　精神的な不安定さがある  ５　給食時に過食傾向がみられる（何度もおかわりをする） | |
| 学校生活  （教育を受ける権利） | １　学校生活に支障はみられない　　　２　欠席が多い、不登校  ３　遅刻や早退が多い　　　　４　保健室で過ごしていることが多い  ５　学校に行っているべき時間に、学校以外で姿を見かける  ６　授業に集中できない、学力がふるわない  ７　忘れ物や宿題をしてこないことが多い | |
| 日常生活  （子どもらしく  過ごせる権利） | １　幼稚園や保育園に通園していない  ２　生活のために（家庭の事情により）修飾・アルバイトをしている  ３　家族の介助や付き添いをしている姿を見かけることがある  ４　幼いきょうだいの送迎をしている姿をみかける | |
| 同居者（子どもからみた続き柄）（あてはまるもの全てに〇） | １　母親　２　父親　３　きょうだい（　　）人、（　　）番目  ４　祖母　５　祖父　６　その他　（　　　　　　　　　） | |
| 生活保護の状況 | １　受給世帯　２　受給なし　３　その他（　　　　）　４　不明 | |
| 経緯・理由 | 発見者 | １　学校　 　２　ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ　　３　保健師  ４　病院　 　５　自治体CW　 ６　その他 |
| 通告者 | １　発見者と同じ　２　学校　 ３　ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ  ４　保健師　　 ５　病院　　６　自治体CW  ７　その他（　　　　　　　　　　　）　８　不明 |
| 把握された経緯 |  | |
| 子ども自身「ヤングケアラー」の認識の有無 | １　子ども自身認識している　　２　子ども自身は認識していない  ３　その他（　　　　　　　） ４　不明 | |
| 子どもがケアを行っている対象者及びケアの内容 | |  |  |  | | --- | --- | --- | | ケアの対象者 | 要介護・障がい等の有無 | ケアの内容 | | １　母親 |  |  | | ２　父親 |  |  | | ３　祖母 |  |  | | ４　祖父 |  |  | | ５　きょうだい |  |  | | ６　その他  　（　　　　） |  |  |   「要介護・障がい等の有無」  A　高齢（65歳以上） 　 B　要介護（介護が必要な状態）  C　認知症　　　　　　 　　D　障がい（①身体　②知的）  E　精神疾患（疑い含む） 　F　依存症（疑い含む）  G　病気（E、F以外）　　 H　幼い  I　その他（日本語が不自由など　　 　　　　　　　　　　　　）  J　不明  K　生活困窮家庭　 　 　　L　ひとり親家庭  「ケアの内容」  １　食事の世話（買い物、食事を作る、食べる介助、後片付けなど）  ２　家の中の家事（掃除、洗濯、アイロンがけ等の他、細々とした家事を含む）  ３　身の回りの世話（衣服の着脱介助、移動介助、服薬管理など）  ４　トイレや入浴の介助  ５　見守り（直接的な介助ではないが、要ケア者の心身の状態を見守り）  ６　感情面のケア　　 　７　きょうだいの世話  ８　通院の付き添い　　 ９　通訳（日本語・手話等）  10　金銭管理　　　　　 11　生活費の援助  12　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| ケアに費やす時間 | １　週（　　　　）日程度　　1日（　　　　）時間程度  （うち夜間（22時～5時）の時間　1日（　　　　）時間程度）  ２　不明 | |
| ケアすることになった理由 | １　親の病気・障がい・精神疾患・加齢や入院のため  ２　ひとり親家庭であるため  ３　親が仕事で、家族のケアに十分に携われないため  ４　祖父母の病気や加齢、入院のため  ５　年下のきょうだいがいる　　６　きょうだいに障がいがあるため  ７　親が家事をしない状態のため  ８　親にとって日本語が第一言語でないため  ９　福祉などのサービスにつながっていないため  10　子どもが自発的に行った　 11　ほかにする人がいなかった  12　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 子どもが行うケアを支援する人の有無 | １　あり　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　）  ２　なし | |
| 家族の状況やケアをしていることを誰かに話せているか | １　話せている　　　→誰に：  ２　話せていない | |
| 子ども本人がどうしたいと思っているか（想い・希望） |  | |
| 支援に関わっている機関・団体及び具体的な支援内容・状況、課題等 | １　連携し、支援につなげた機関・団体の名称  　　（介護部門、障がい部門、○○事業所など）  ２　支援内容（介護保険、障がいサービス、家事支援など）  ３　成果・課題等 | |

◎個々のケースごとに、１、２の部署（機関）名等を確認する

|  |  |
| --- | --- |
| １　「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応方針を決定する部署（機関）※  ※ここでは進行管理の責任主体のことを指します | １　他の要保護（要支援）児童と同じ対応（部署名　　　　　　）  ２　他の要保護（要支援）児童とは別に決めている  　　→（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　）  ３　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ４　特に決まっていない |
| ２　「ヤングケアラー」と思われる子どもに対して、今後の対応等に関して意向把握をする人（部署機関）※  ※ここでは必要な支援を主に行う機関のことを指します。 | １　他の要保護（要支援）児童と同じ対応（部署名　　　　　　）  ２　他の要保護（要支援）児童とは別に決めている  　　→（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ３　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ４　特に決まっていない |
| 以下については、ケースごとに工夫があれば記入する。 | |
| ３　「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため学校との連携で工夫されていることがありますか | １　ある  　　→　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ２　特にない  ３　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ４　「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため医療機関（※）との連携で工夫されていることがありますか | １　ある  　　→　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ２　特にない  ３　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ※ここでの医療機関とは、ケアの対象者が、医療的ケアが必要（精神疾患、依存症等）などで、ケア対象者自身が通っている医療機関のことを指し、子ども本人が通っている医療機関ではありません。 | |
| ５　「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応のため通訳など日本語ができない保護者等への支援を行う関係機関との連携で工夫されていることがありますか | １　ある  　　→　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ２　特にない  ３　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |